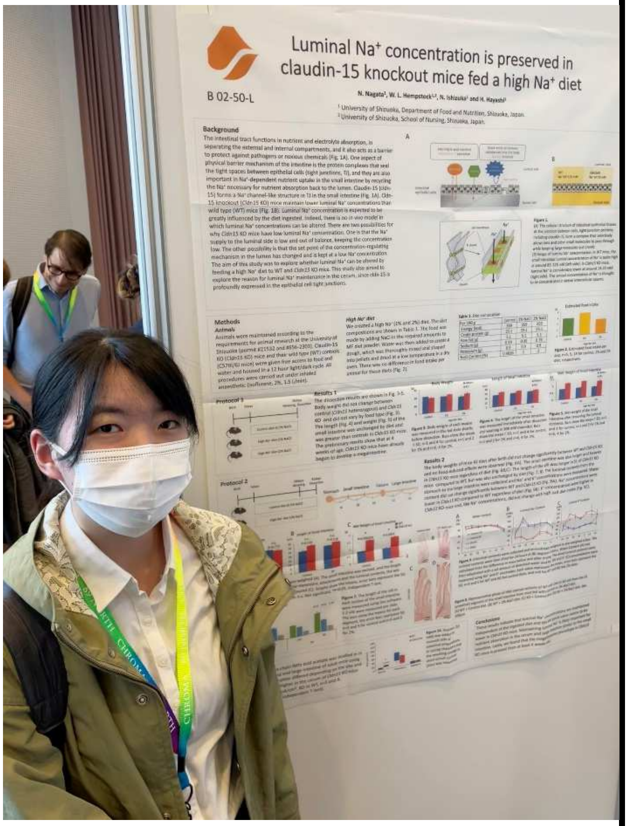
報 告 書

Europhysiology 2022 にてポスター発表

2022 年 9 月 16 日～18 日にデンマークのコペンハーゲンで開催された Europhysiology 2022 に参加しました。Europhysiology は英国生理学会（The Physiological Society）、スカンジナビア生理学会（The Scandinavian Physiological Society）、ドイツ生理学会(The German Physiological Society)、欧州生理学会連合(The Federation of European Physiological Societies)の 4 つの学会の合同会議として 2 年毎に開催されるものです。欧州のみならず、北米など多くの国の研究者が参加し、生理学のさまざまな分野の最新の研究報告が発表されており、活発な討論が行われていました。

私は「Luminal Na^+ concentration is preserved in claudin-15 knockout mice fed a high Na^+ diet（クローディン-15 ノックアウトマウスでは、高 Na^+食を与えても腸管管腔 Na^+濃度は維持される）」という演題でポスター発表を行いました。本研究では、野生型のマウスに比べ、腸管管腔 Na^+濃度が低く保たれているクローディン-15 ノックアウトマウスに出生 5 日後から高 Na^+食を投与しました。高 Na^+食を摂食させても管腔 Na^+濃度は低く保たれ、予測していた形態学的な変化は観察されないことを明らかにしました。



今回、初めて国際学会に参加し、英語での発表および討論することの難しさを実感しました。英語で発表することにより、自身の研究に対して、より様々な視点から深く考えることができました。よりよくディスカッションするためにも、語学力の向上が必要だと思いました。

薬食生命科学総合学府　食品栄養科学専攻
博士前期課程 2 年　生理学研究室
長田望実